



高齢者の『生活交通』について

6月議会で初めての一般質問を行いました。テーマは「高齢者の『生活交通』について」です。質問通告を出したのは5月29日。すぐに担当課長さんから連絡があり、質問の主旨や内容を聞き取りにきます。そこからスタートして、資料を集めたりしながら質問原稿を練り上げて、質問日を迎えました。

初めての経験で一番の心配事は、質問時間の45分間にどう収めるかです。当日の朝、1分間に原稿何行をしゃべれるかを頭に入れ、質問に向かいます。準備した原稿をもとに、45分ぎりぎり自分の思いを入れることができました。

夕方6時に帰宅すると近所の友人が、「今日の質問良かった！」と言って、味ご飯とビールの差し入れがありました。

また「今日の質問、すばらしかったです。産業振興部が答弁する内容か?」と思ったけど、保健福祉部も、人よりカネの話でした。私の父も晩年危険だと免許を返納させたら、非常に機嫌が悪くなり、一気に認知症が進んでしまったのを覚えていますし、そんなお年寄りの話をたくさん聞きます。高齢者には、自由に移動できると同時に、人とふれあい、コミュニケーションを楽しめる場を作ることが大切なのです。玉城町のオンデマンドバ

スのとりくみ、鈴鹿でも是非前進してほしいです。」とのメールも届きました。うれしい激励です。

CNSの録画映像を観ながらこの原稿を書いています。緊張してないつもりでしたが、顔がこわばってる。笑顔、笑顔、を意識しながら、また明日からがんばります。(6月17日)

玉城町・「元気バス」の概要 資料①

- 9人乗りワゴン車、3台
 午前9時～午後5時、
 毎日運行 (年末年始のみ運休)
- 東京大学大学院オンデマンド交通システムを利用
 利用予約受付 30分前から2週間先まで
- 町民は誰でも無料 (登録必要)
 運行経費 年間約1800万円

三重県玉城町
 人口：15,400人
 鈴鹿市の約13分の1
 面積：約41km²
 鈴鹿市の約5分の1

運行：玉城町社会福祉協議会
 H21年11月～実証実験、H23年1月～3台で本格運用

利用先 ①保健福祉会館(介護予防教室)
 ②温泉施設

元気バス運行報告会 資料③

オンデマンド交通導入による医療費削減効果の検証

日時：2015年3月6日 会場：三重県玉城町保健福祉会館
 報告：東京大学大学院 石黒 慧

削減額の試算 (オンデマンド交通)

- 検証結果より、利用者群、非利用者群の間に一人当たり平均約21,000円/年の外来医療費の削減が起きていた
- これまでにオンデマンド交通を利用した高齢者は544人いる
 - これらの人に同様の削減が発生しているとすると、1,100万円/年の削減となる
 - 運営費約1800万円/年には及ばない...?

4年前との比較で
 後期高齢者
 通院医療費が
 年間1,100万円の削減
 運行経費約1,800万円/年

▲質問に使った資料 ※質問の録画映像ははしづめホームページをご覧ください。

玉城町 元気バス見学会

7月2日、鈴鹿市民のコミバスをよくする会の皆さん31名と一緒に、玉城町の元気バス見学会に行ってきました。

朝10時に鈴鹿市を出発し、お昼は玉城町の「ふるさと味工房アグリ」で昼食をとり、13時から15時まで玉城町・保健福祉会館で説明を受け質問タイムのあと、ちょうど福祉会館に来た元気バスも見て乗り込むことができました。

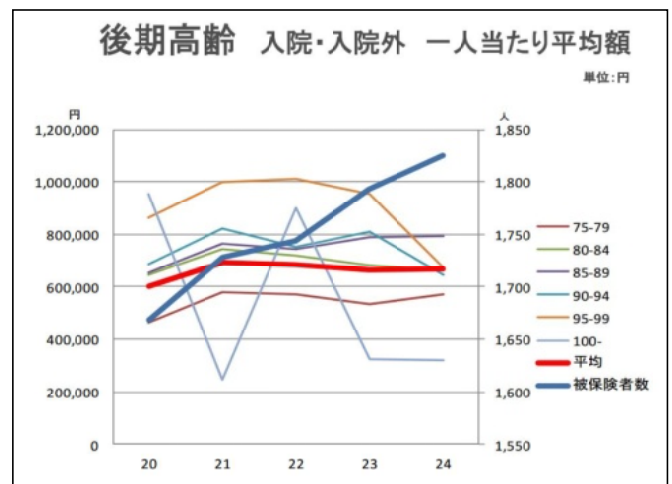
コミバスをよくする会での見学会は昨年に続き2回目ですが、今回は老人会や自治会の役員の方が多く参加し、有意義な見学会だったと思います。

玉城町では、無料の元気バスを走らせて高齢者の外出支援をすすめるなかで、介護予防教室や温泉施設などの利用者が増え、後期高齢者が増加するなかでも、高齢者医療費が低く抑えられています。

「鈴鹿でもこんなバスを走らせて欲しい」・・・参加した皆さんの感想です。



保健福祉会館で説明を受けました



説明資料の1ページ ■資料全頁はWebで
玉城町社会福祉協議会→視察のご案内→視察資料

中学校給食の試食会



給食センターで今年5月から始まった中学校給食の試食会がありました。

美味しかったです。量や味付けなどアンケートもとりながら工夫されているのがよくわかりました。

今回は市議員向けの試食会で、給食費は300円でした。各学校でも保護者を対象に行われるといいですね。



平和への祈り展

イオンモール鈴鹿で開催された、鈴鹿市主催「平和への祈り展・NAGASAKI原爆展」を見てきました。

多くの親子連れで賑わっていました。終戦から70年、戦争の悲惨さを忘れないようにしたいものです。(6月27日)

「元自衛官が語る日本の防衛」

7月4日(土)の午後、鈴鹿市文化会館けやきホールで、元自衛官・泥憲和さんの講演会があった。演題は「元自衛官が語る日本の防衛＝集団的自衛権と秘密保護法」といういまホットな話題。

パワーポイントをうまく使って、わかりやすく、楽しく、そして元気の出る90分でした。内容は、①「安全保障の危機」というまやかし、②「憲法は無力だ」というまやかし、③「テロとの戦いは正義だ」というまやかし、という3つのまやかしについて話されたが、お話を聞きながら、マスコミが伝えないこと、私た

ちが知らないことがいかに多いか、改めて学ばされました。

その一例、安倍首相は、「ホルムズに機雷が敷設されれば日本の石油輸入は途絶し、存亡の危機に立つ」という。しかし、かつてイランイラク戦争の時、一時的にホルムズ海峡が封鎖されたが、その後その教訓から、迂回パイプラインが建設され、ホルムズ海峡を通らなくても石油の積出はできるとのこと。へえ～そうなんだと、驚くお話が満載の講演会でした。※録画ビデオご希望の方はご連絡下さい。実費100円でおわけします。



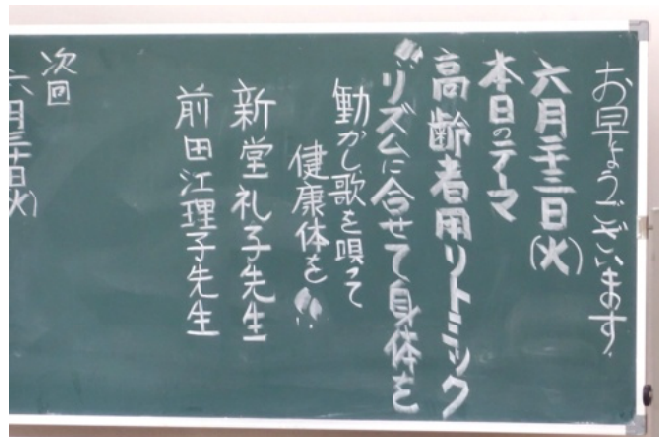
泥・憲和さん

「きずな」さんの「介護予防教室」

NPO法人「きずな」さんが毎週江島6丁目集会所で行っている「介護予防教室」に参加してきました。見学のつもりでいったのですが、皆さんに誘われて一緒に身体を動かし、歌を唄って、楽しむことができました。その日のテーマは「高齢者用リトミック」ということで、40数名の参加者は、リズムに合わせて身体を動かし、歌を唄って身体を動かし、笑顔にあふれた90分でした。

副理事長の杉本さんは、民生委員をしていた時の「お年寄りが元気に集える場

所づくりがしたい」との思いから始めたと言います。参加者の笑顔があるから、毎週続いているのだと思います。スタッフの皆さんご苦労さまです。



労働相談

6月26日午後「労働相談」の電話がかかる。すぐに鈴鹿ユニオンの事務所にきてもらい話を聞く。

40才代の男性と奥さんの2人。聞けば、ホンダの工場内で電気工事などを行っている会社の鈴鹿出張所勤務でリーダー的存在だった人。ところが、専務取締役N氏の業者との癒着・横領などが目に余るので社長に直訴したら、まさかの展開で、N氏はおとがめなしで、本人は浜松本社に転勤させられ仕事も与えられず事務所で読書の日々。単身赴任にもかかわらず賃金は10万円近く減り住宅ローンも払えない。こんなことが許されているのか！

労働基準局や法テラスもまわり、市の制度を利用して何人もの弁護士さんに聞いたが誰も真剣に聞いてくれない。「苦しければ会社を辞めるしかないね」との返事。

幸いにも、単身赴任先の浜松で個人加盟の労働組合に出会い団体交渉を始めたとのことで、鈴鹿でも支援してほしいとの相談だった。「もちろん全面的に協力します。加盟した浜松の地域労組にはホンダOBで私の友人も相談員として活動しています」と答えると、お二人の張りつめた表情が明るくなりました。労働組合との出会いも、共産党との出会いも初めてのご夫婦、一緒にがんばりましょう。

